

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

井田川小学校区放課後児童クラブ	1
井田川小学校区第二放課後児童クラブ	3
亀山東小学校区放課後児童クラブ	5
関小学校区放課後児童クラブ	7
井田川地区北コミュニティセンター	9
井田川地区南コミュニティセンター	10
川崎地区コミュニティセンター	11
神辺地区コミュニティセンター	12
昼生地区コミュニティセンター	13
白川地区北・南コミュニティセンター	14
天神・和賀地区コミュニティセンター	15
本町地区コミュニティセンター	16
城西地区コミュニティセンター	17
城北地区コミュニティセンター	18
城東地区コミュニティセンター	19
野村地区コミュニティセンター	20
御幸地区コミュニティセンター	21
北東地区コミュニティセンター	22
東部地区コミュニティセンター	23
南部地区コミュニティセンター	24
野登地区コミュニティセンター	25
鈴鹿馬子唄会館	26
文化会館・中央コミュニティセンター	27
運動施設等	29
石水溪キャンプ場施設等	31
道の駅関宿地域振興施設	33
勤労文化会館	35
都市公園施設(83公園)	37

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	健康福祉部子ども総合センター子ども家庭室
施設名	井田川小学校区放課後児童クラブ	
指定管理者	井田川小学校区学童保育所くれよんくらぶ運営委員会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p>「放課後児童クラブの管理に関する基本協定書」及び年度協定を締結するとともに、指定管理業務については仕様書により適正に管理した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、事故発生の防止 ・施設、設備の点検 ・施設の整理、整頓に務め清掃を行う
運営について	<p>上記の基本協定書及び仕様書により適正に運営した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 利用する放課後児童の指導に関する業務</p> <p>2. 保育料金の収受に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童及び保護者に対する入所時の説明 ・日誌、月報等の作成 ・保育に必要な消耗品、応急医薬品、図書等の購入 ・防災台帳の管理及び緊急連絡先名簿の作成 ・定期的な避難訓練等の実施
事業について	<p>通常の保育の他、毎月のお誕生会、親子デイキャンプ、クリスマス会、バス旅行や奉仕作業等を実施する等、独自の行事を実施した。</p>

施設の利用状況

年間平均児童数：66人

開設日数：302日

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	8,241,750	事業費	13,712,219
利用料金収入	8,053,600	管理費	2,854,816
その他の収入	4,871,711	その他	4,600,026
合計(a)	21,167,061	合計(b)	21,167,061
収支差額(a) - (b)		0	

検証結果

仕様書等に記載された業務内容については、適正に実施・運営されている。
 独自でさまざまなイベントを企画し、また、保護者会の協力も得て独自の交流事業の実施や団体の特性を活かした取組みも行うなど、評価できる運営内容である。
 その他、大きな事故等もなく、安全対策や個人情報の管理が適正だったと認められる。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	健康福祉部子ども総合センター子ども家庭室
施設名	井田川小学校区第二放課後児童クラブ	
指定管理者	井田川小学校区学童保育所くれよんくらぶ運営委員会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p>「放課後児童クラブの管理に関する基本協定書」及び年度協定を締結するとともに、指定管理業務については仕様書により適正に管理した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、事故発生の防止 ・施設、設備の点検 ・施設の整理、整頓に務め清掃を行う
運営について	<p>上記の基本協定書及び仕様書により適正に運営した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 利用する放課後児童の指導に関する業務</p> <p>2. 保育料金の収受に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童及び保護者に対する入所時の説明 ・日誌、月報等の作成 ・保育に必要な消耗品、応急医薬品、図書等の購入 ・防災台帳の管理及び緊急連絡先名簿の作成 ・定期的な避難訓練等の実施
事業について	<p>通常の保育の他、毎月のお誕生会、親子デイキャンプ、クリスマス会、バス旅行や奉仕作業等を実施する等、独自の行事を実施した。</p>

施設の利用状況

年間平均児童数：67人

開設日数：302日

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	6,756,750	事業費	12,574,720
利用料金収入	8,057,500	管理費	2,192,315
その他の収入	1,802,522	その他	1,849,737
合計(a)	16,616,772	合計(b)	16,616,772
収支差額(a) - (b)		0	

検証結果

仕様書等に記載された業務内容については、適正に実施・運営されている。
 独自でさまざまなイベントを企画し、また、保護者会の協力も得て独自の交流事業の実施や団体の特性を活かした取組みも行うなど、評価できる運営内容である。
 その他、大きな事故等もなく、安全対策や個人情報の管理が適正だったと認められる。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	健康福祉部子ども総合センター子ども家庭室
施設名	亀山東小学校区放課後児童クラブ	
指定管理者	亀山東小学校区学童保育所とちの木運営委員会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p>「放課後児童クラブの管理に関する基本協定書」及び年度協定を締結するとともに、指定管理業務については仕様書により適正に管理した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、事故発生の防止 ・施設、設備の点検 ・施設の整理、整頓に務め清掃を行う
運営について	<p>上記の基本協定書及び仕様書により適正に運営した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 利用する放課後児童の指導に関する業務</p> <p>2. 保育料金の収受に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童及び保護者に対する入所時の説明 ・日誌、月報等の作成 ・保育に必要な消耗品、応急医薬品、図書等の購入 ・防災台帳の管理及び緊急連絡先名簿の作成 ・定期的な避難訓練等の実施
事業について	<p>通常の保育の他、毎月のお誕生会、ゲーム大会、クリスマス会、おやつ作りや奉仕作業を実施する等、独自の行事を実施した。</p>

施設の利用状況

年間平均児童数：40人

開設日数：265日

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	4,612,300	事業費	4,115,194
利用料金収入	5,144,200	管理費	6,423,226
その他の収入	6,389,835	その他	5,607,915
合計(a)	16,146,335	合計(b)	16,146,335
収支差額(a) - (b)		0	

検証結果

仕様書等に記載された業務内容については、適正に実施・運営されている。
 独自でさまざまなイベントを企画し、また、保護者会の協力も得て独自の交流事業の実施や団体の特性を活かした取組みも行うなど、評価できる運営内容である。
 その他、大きな事故等もなく、安全対策や個人情報の管理が適正だったと認められる。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	健康福祉部子ども総合センター子ども家庭室
施設名	関小学校区放課後児童クラブ	
指定管理者	関小学校区学童保育所さくらクラブ運営委員会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p>「放課後児童クラブの管理に関する基本協定書」及び年度協定を締結するとともに、指定管理業務については仕様書により適正に管理した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、事故発生の防止 ・施設、設備の点検 ・施設の整理、整頓に務め清掃を行う
運営について	<p>上記の基本協定書及び仕様書により適正に運営した。</p> <p>業務内容</p> <p>1. 利用する放課後児童の指導に関する業務</p> <p>2. 保育料金の収受に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童及び保護者に対する入所時の説明 ・日誌、月報等の作成 ・保育に必要な消耗品、応急医薬品、図書等の購入 ・防災台帳の管理及び緊急連絡先名簿の作成 ・定期的な避難訓練等の実施
事業について	<p>通常の保育の他、毎月のお誕生会、高学年の宿泊体験、クリスマス会や奉仕作業等を実施する等、独自の行事を実施した。</p>

施設の利用状況

年間平均児童数：45人

開設日数：292日

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	8,754,900	事業費	12,520,270
利用料金収入	4,832,816	管理費	3,003,275
その他の収入	4,336,526	その他	2,400,697
合計(a)	17,924,242	合計(b)	17,924,242
収支差額(a) - (b)		0	

検証結果

仕様書等に記載された業務内容については、適正に実施・運営されている。
 独自でさまざまなイベントを企画し、また、保護者会の協力も得て独自の交流事業の実施や団体の特性を活かした取組みも行うなど、評価できる運営内容である。
 その他、大きな事故等もなく、安全対策や個人情報の管理が適正だったと認められる。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	井田川地区北コミュニティセンター	
指定管理者	井田川地区北コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：18,005人	利用回数：1,540回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	3,048,000	事業費		
利用料金収入		管理費		3,039,584
その他の収入		その他(返還)		8,416
合計(a)	3,048,000	合計(b)		3,048,000
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。 ゴーヤによる「緑のカーテン」の取り組みを実施するなど、環境に配慮した管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	井田川地区南コミュニティセンター	
指定管理者	井田川地区南コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：4,898人	利用回数：459回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,871,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,760,353
その他の収入		その他（返還）	110,647
合計（a）	2,871,000	合計（b）	2,871,000
収支差額（a） - （b）			0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 アンケートや意見箱等を設置し、サービス向上の取り組みに努められたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	川崎地区コミュニティセンター	
指定管理者	川崎地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：5,063人 利用回数：197回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	3,274,000	事業費		
利用料金収入		管理費		3,148,952
その他の収入		その他(返還)		125,048
合計(a)	3,274,000	合計(b)		3,274,000
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 他の施設に比べて、施設や敷地の面積が広いが、適切に維持管理に努められている。 アンケートや意見箱等を設置し、サービス向上の取り組みに努められたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	神辺地区コミュニティセンター	
指定管理者	神辺地区ふれあいまちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：6,888人 利用回数：1,183回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	3,047,952	事業費		
利用料金収入		管理費		3,047,952
その他の収入		その他		
合計(a)	3,047,952	合計(b)		3,047,952
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 平成26年12月に、新しいコミュニティセンターが開館し、利用者数や利用回数も増えている。 平成27年4月に、神辺地区ふれあいまちづくり協議会が設立され、指定管理業務も適正に運営されている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	昼生地区コミュニティセンター	
指定管理者	昼生地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：4,652人 利用回数：340回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	3,006,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,894,182
その他の収入		その他（返還）	111,818
合計（a）	3,006,000	合計（b）	3,006,000
収支差額（a） - （b）			0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	白川地区北コミュニティセンター、白川地区南コミュニティセンター	
指定管理者	白川地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：1,575人	利用回数：95回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	2,873,000	事業費		
利用料金収入		管理費		2,715,688
その他の収入		その他(返還)		157,312
合計(a)	2,873,000	合計(b)		2,873,000
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 市内唯一2箇所の施設を有するため、施設の有効活用につながるPR活動に努められたい。 平成27年5月に、白川地区まちづくり協議会が設立され、指定管理業務も適正に運営されている。利用者へ節電の周知をされたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	天神・和賀地区コミュニティセンター	
指定管理者	天神・和賀地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：2,831人 利用回数：291回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,955,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,902,464
その他の収入		その他	52,536
合計（a）	2,955,000	合計（b）	2,955,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	本町地区コミュニティセンター	
指定管理者	本町地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：5,925人 利用回数：499回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,951,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,950,826
その他の収入		その他（返還）	174
合計（a）	2,951,000	合計（b）	2,951,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	城西地区コミュニティセンター	
指定管理者	城西地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：8,686人 利用回数：590回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	3,113,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,956,337
その他の収入		その他（返還）	156,663
合計（a）	3,113,000	合計（b）	3,113,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	城北地区コミュニティセンター	
指定管理者	城北地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：5,914人	利用回数：533回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,909,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,861,182
その他の収入		その他（返還）	47,818
合計（a）	2,909,000	合計（b）	2,909,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 ゴーヤによる「緑のカーテン」の取り組みを実施するなど、環境に配慮した管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	城東地区コミュニティセンター	
指定管理者	城東地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：2,620人	利用回数：231回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,971,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,822,073
その他の収入		その他（返還）	148,927
合計（a）	2,971,000	合計（b）	2,971,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 利用者数や利用回数が減少傾向にあるが、施設の有効活用につながるPR活動に努められたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	野村地区コミュニティセンター	
指定管理者	野村地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：11,860人	利用回数：692回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,877,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,801,116
その他の収入		その他（返還）	75,884
合計（a）	2,877,000	合計（b）	2,877,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	御幸地区コミュニティセンター	
指定管理者	御幸地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：5,693人 利用回数：448回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,853,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,772,427
その他の収入		その他（返還）	80,573
合計（a）	2,853,000	合計（b）	2,853,000
収支差額（a） - （b）			0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	北東地区コミュニティセンター	
指定管理者	北東地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：11,069人 利用回数：880回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	2,896,000	事業費		
利用料金収入		管理費	2,888,416	
その他の収入		その他(返還)	7,584	
合計(a)	2,896,000	合計(b)	2,896,000	
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。 駐車場にアイドリングストップの表示を行うなど、環境に配慮した管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	東部地区コミュニティセンター	
指定管理者	東部地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：6,966人 利用回数：261回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	2,941,000	事業費		
利用料金収入		管理費		2,908,919
その他の収入		その他(返還)		32,081
合計(a)	2,941,000	合計(b)		2,941,000
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 駐車場にアイドリングストップの表示を行うなど、環境に配慮した管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	南部地区コミュニティセンター	
指定管理者	南部地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況
利用者数：3,702人 利用回数：200回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,941,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,703,300
その他の収入		その他（返還）	237,700
合計（a）	2,941,000	合計（b）	2,941,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 昨年より、利用者が大幅に増えているが、適正な管理運営がなされている。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	野登地区コミュニティセンター	
指定管理者	野登地区まちづくり協議会	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数：4,221人	利用回数：348回

管理業務に関する経費の収支状況			
（単位：円）			
収入の部		支出の部	
指定管理料	2,824,000	事業費	
利用料金収入		管理費	2,769,148
その他の収入		その他（返還）	54,852
合計（a）	2,824,000	合計（b）	2,824,000
収支差額（a） - （b）		0	

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。 平成27年4月に、野登地区まちづくり協議会が設立され、指定管理業務も適正に運営されている。展示コーナーや事務室を整理整頓されたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部地域づくり支援室
施設名	鈴鹿馬子唄会館	
指定管理者	坂下地区コミュニティ	
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日	

事業報告概要	
管理について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
運営について	基本協定書及び仕様書に定められた事項は適正に実施された。
事業について	例年どおり地域自治会及び各種団体等と連携しながら、年間を通して事業が実施された。

施設の利用状況	
利用者数： 8,312人	利用回数： 294回

管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
収入の部		支出の部		
指定管理料	4,677,000	事業費		
利用料金収入		管理費		4,423,864
その他の収入		その他(返還)		253,136
合計(a)	4,677,000	合計(b)		4,677,000
収支差額(a) - (b)				0

検証結果
仕様書及び事業計画に定められた事項は適切に実施された。駐車場にアイドリングストップの表示を行うなど、環境に配慮した管理運営がなされている。昨年より、利用者が大幅に増えており、アンケートや意見箱等を設置し、サービス向上の取り組みに努められたい。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部文化振興局文化スポーツ室
施設名	亀山市文化会館・亀山市中央コミュニティセンター	
指定管理者	公益財団法人亀山市地域社会振興会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p><u>利用者の要望等を聴取し、管理運営に反映できているか。</u> 利用者の要望及び満足度を調査するため、アンケートの実施やご意見箱が設置されており、可能な範囲で要望に応えている。</p> <p><u>管理運営にあたり、市民及び各種団体等との連携を図ったか。</u> 文化会館施設運営委員会を開催し意見交換を行っている。また、ピアノの維持管理のためボランティアによる弾き込みや、改善ボランティアなどと連携して施設管理に取り組んでいる。</p> <p><u>施設の維持管理は、適切に行われているか。</u> 仕様書で定められた内容を満たすために、外部委託も活用しながら適正に維持管理が行われている。 また、建築基準法で定められた2年に一度の特殊建築物調査を実施し、指摘箇所について改修が行われている。</p>
運営について	<p><u>市民ニーズの把握（アンケート調査）を行っているか。結果後の反映はされているか。</u> 市民参加型事業の出演者や来館客へのアンケートが実施されており、可能な範囲で対応している。</p> <p><u>環境への配慮はされているか。</u> 地球温暖化防止対策実行計画に基づき、節電・節水、ゴミ減量の呼びかけや取組が実施されている。また、公用車の乗り合わせにより環境負荷の低減に努められている。</p> <p><u>個人情報の管理が適正にできているか。</u> 全職員を対象とした個人情報保護研修を実施し、職員が自覚をもって業務にあたるよう努められている。</p> <p><u>サービス向上のために、情報発信を行っているか。</u> 催し物ガイドの配布やホームページやFacebookを活用し、タイムリーな情報発信が行われている。</p>
事業について	<p><u>市民のニーズを聴取し、自主事業に反映させているか。</u> 自主文化事業については、28事業実施されており、参加型・育成型の事業が2/3以上を占めており、市民参加型の事業に重点的に取り組んでいる。低価格で鑑賞できる宝くじ文化公演やワンコインコンサート等、利用しやすい入場料でのコンサートに取り組んだ。また、ワンコインコンサート等と日を合わせ、プロの演奏者による小中学校等へのアウトリーチを実施するなど、子どもを対象とした参加・育成型事業を積極的に実施し、次世代を担う子どもたちが文化活動に触れる機会を積極的に創出した。</p> <p><u>市民及び各種団体等との連携を図っているか。</u> 文化会館事務所に相談窓口を設置してプログラムの構成をはじめとする支援を行うなど、企画段階から地域の文化活動団体をサポートし続け、利用者が安心して施設を利用できるよう努めている。利用者の満足度・評価は高く、リピーターの確保や利用拡大につながっている。平日日中の会議室の利用も企業などへのPRを継続した結果、目標数値を達成することができた。 また、市内小中学校を中心にアウトリーチ活動が実施され、学校などと連携して文化分野での人材育成に取り組んだ。</p>

施設の利用状況			
<u>施設の利用状況は、昨年度と比較してどうか。</u>			
利用者数	(平成26年度)	(平成27年度)	
施設全体	79,270人	85,999人	喫茶コーナー除く
・文化会館	51,730人	59,934人	大ホール+会議室
・中央コミュニティセンター	27,540人	26,065人	
施設利用料金収入	11,796,521円	13,491,605円	この他に入場料等収入があります。
<u>自主事業数</u>			
25事業(うち:参加型10、育成型7、鑑賞型8)		入場者数	16,746人
<u>独自事業数</u>			
3事業(参加型)参加者数20名			

管理業務に関する経費の収支状況			
(単位:円)			
収入の部		支出の部	
指定管理料	88,060,000	事業費	44,662,730
利用料金収入	35,581,357	管理費	82,049,453
その他の収入	6,899,134	その他	2,395,560
合計(a)	130,540,491	合計(b)	129,107,743
収支差額(a) - (b)		1,432,748	

検証結果
<p>施設の管理については、仕様書に基づき業務委託も含めた定期点検及び職員による日常点検の実施により適切に行われている。また、マニュアルや職員研修により個人情報保護等に関する情報共有に努められている。</p> <p>施設運営面においては、文化会館施設運営委員会での意見交換や改善ボランティアをはじめとする市民等と協力・連携しながら運営を進めている。</p> <p>自主文化事業については、参加・育成型事業に重点的に取り組まれており、市民が文化活動に関わる機会を創出し、市の文化水準の引き上げにつながる取組みを進めている。また、教育委員会や学校との連携によるアウトリーチでは、子どもたちが文化により豊かな感性を育むことや音楽に関心を持つことを目指し、長年にわたって取り組んでいるプロによる合唱指導など本物の芸術に触れる機会を創出した。</p> <p>また、県総合文化センターと連携して実施したワンコインコンサートや亀山市の音楽活動をされている方を紹介する事業(若い芽コンサート等)をはじめ、H26年度設立された市民ミュージカル劇団の上演など音楽ホールのかげとして音楽事業を中心に多彩な事業に取り組まれ、文化の拠点施設として、市の文化振興に大きく寄与されていると高く評価できる。</p>

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部文化振興局文化スポーツ室
施設名	亀山市運動施設等施設 （西野公園体育館、西野公園野球場、西野公園運動広場、西野公園庭球場、西野公園プール、 亀山公園庭球場、東野公園体育館、東野公園ソフトボール場、東野公園運動広場、東野公園ゲ ートボール場、観音山テニスコート、関B & G海洋センター、関総合スポーツ公園多目的グラ ウンド）	
指定管理者	三幸・スポーツマックス共同事業体	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p><u>利用者の要望等を聴取し、管理運営に反映できているか。</u> 利用者の要望及び満足度を調査するためご意見箱が設置されており、意見に対する大所、対応、改善策など、指定管理者からの返答を利用者が閲覧できる環境が整っている。</p> <p><u>管理運営にあたり、市民及び各種団体等との連携を図ったか。</u> 業務に支障がない範囲で、地域清掃や防犯活動（愛の運動等）に取り組まれている。また、職場体験学習の受け入れも毎年実施されている。</p> <p><u>施設の維持管理は、適切に行われているか。</u> 仕様書で定められた内容を満たすために、外部委託も活用しながら適正に維持管理が行われている。簡易な点検及び維持修繕については、施設スタッフで行うなど、経費削減に努められている。</p>
運営について	<p><u>市民ニーズの把握（アンケート調査）を行っているか。結果後の反映はされているか。</u> 利用者及び事業参加者へのアンケートが実施されており、寄せられた意見については、対応できるものについては迅速に対応されている。（老眼鏡の設置、トレーニング用具の整備等）</p> <p><u>環境への配慮はされているか。</u> 地球温暖化防止対策実行計画に基づき、節電等の呼びかけや取組が実施されている。また、緑のカーテン作戦にも参加されており、緑化推進事業にも取り組まれている。</p> <p><u>個人情報の管理が適正にできているか。</u> プライバシーマークを取得し、企業として個人情報の管理を徹底している。また、個人情報保護をテーマとした研修が、全職員に対して実施されている。</p> <p><u>サービス向上のために、情報発信を行っているか。</u> 館内の情報掲示板の活用、施設だよりの作成・設置、ホームページや Facebook での情報発信が行われている。</p>
事業について	<p><u>市民の要望等を聴取し、自主事業に反映させているか。</u> 亀山高校やスポーツ少年団と協働することにより、近隣市町を巻き込んだ独自のスポーツ大会が開催された。また、ニーズの高い教室は開催回数を増やすなど、参加者の声に柔軟に対応されている。</p> <p>昨年度から、トップアスリートと交流が図ることのできる事業に取り組まれており、今年度も女子プロサッカー選手による教室や、元オリンピック選手による陸上教室が開催された。自主事業は、全45種類、年間合計467回開催されており、延べ参加者数は7,409名であった。</p> <p><u>市民及び各種団体等との連携を図っているか。</u> 江戸の道シティマラソンへの協賛（記念品提供）や、亀山高校ハンドボール部への体幹トレーニングの実施など、地域のスポーツ団体との連携が取られている。また、自主事業から生まれた市内小学生によるチアダンスチームが、喜寿苑を訪れダンスを披露するなど、地域内のつながりを重視した事業展開が見られた。</p>

施設の利用状況

施設の利用状況は、昨年度と比較してどうか。

	(H26)	(H27)
西野公園管理施設	76,542 人	76,070 人
東野公園管理施設	38,790 人	39,692 人
B & G 海洋センター管理施設	52,306 人	52,269 人
亀山公園管理施設	6,718 人	6,966 人
合計	174,356 人	174,997 人 (641 人増)

自主事業開催回数

全 45 種 年間 467 回開催 (水中ウォーキングセミナー、骨盤体操教室、三幸・スポーツマックス杯など)

延べ参加人数 7,409 名

・三幸スポーツマックス杯などの大規模な自主事業を行うことで、参加人数が大幅に増加した。

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	74,607,000	事業費	2,811,821
利用料金収入	17,116,329	管理費	86,033,801
その他の収入	5,671,550	その他	
合計 (a)	97,394,879	合計 (b)	88,845,622
収支差額 (a) - (b)		8,549,257	

検証結果

施設管理については、地域の清掃・防犯活動に積極的に取り組まれており、地域貢献する取組が評価できる。また、維持管理についても、仕様書の基準に基づくと共に、軽微な修繕については職員がおこなうなど、経費削減にも取り組まれており、適切な施設管理がされている。

施設運営については、積極的な情報発信や、アンケートが実施されており、利用者のニーズに迅速に対応されている面は評価できる。一方、接客・接遇について、利用者や市民から意見を頂いている部分もあるため、改善が必要である。

事業の面では、トップアスリートとの交流が図れる事業、亀山高校やスポーツ少年団と連携した大会事業、自主事業参加者と地域との交流が生まれる事業など、独自性の高い事業が展開されており、市民がスポーツに取り組む機会の充実に寄与されているとともに、地域のスポーツ団体との協働・連携の姿勢が見られる。

指定管理事業検証結果報告書(平成27年度)

	担当室	市民文化部関支所観光振興室
施設名	石水溪キャンプ場施設	
指定管理者	公益財団法人亀山市地域社会振興会	
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	

事業報告概要	
管理について	<p>[管理施設] 亀山市石水溪キャンプ場バンガロー施設、同テント村、同屋内研修施設</p> <p>[管理業務] 利用者が安心して快適に使用できるよう仕様書及び協定書に基づき、施設の維持管理業務(消防設備保守点検、汚水処理施設維持管理、塵芥作業及び清掃業務、水質検査、その他施設の巡視・点検、小規模修繕工事の実施等)を専門業者への外部委託を含め実施した。</p>
運営について	<p>亀山市石水溪キャンプ場施設条例及び同条例施行規則等関連法令を遵守し、仕様書及び協定書に基づき、施設の利用許可及び利用料の徴収業務等を行った。</p> <p>またアンケート調査を実施し、利用者の要望把握に努めるとともに、その要望を次年度の計画の参考とした。(回答数 利用者:145)</p>
事業について	<p>石水溪キャンプ教室 7月30日~7月31日 1泊2日開催</p> <p>毎年、100名以上の申込みがあり、希望者が多いキャンプ教室は40名の定員で実施した。</p> <p>亀山市人材バンクや地元「ののぼりクラブ」で活動する方々を講師に招き、自然と触れ合う川遊び、木工教室、パン作り体験などを通して石水溪の魅力やキャンプの楽しさを提供することができた。</p> <p>第8回石水溪まつり 10月3日開催</p> <p>石水溪観光協会を中心に地元関係団体で実行委員会を組織し、4回の会議を開催し企画・運営を行った。石水溪の魅力をもっとPRすると共に、石水溪ミニハイキング等、市外からの来訪者と地元の交流イベントを開催するなど、約850人の参加でにぎわった。</p> <p>石水溪キャンプ場施設運営委員会</p> <p>地元関係団体代表者を中心に、情報交換や運営課題の検討、運営協力等の調整を図ることを目的として組織し、会議を2回開催した。</p> <p>キャンプ用薪等の販売</p> <p>施設利用者のニーズに応えるため、キャンプファイヤーやかまど等に使う薪や炭を販売し、100件以上の販売実績があった。</p>

施設の利用状況				
開館期間 平成27年4月1日～10月31日				
使用許可実績 バンガロー施設218件、テント村99件、屋内研修施設37件 計354件				
利用者数	バンガロー施設	1,763人	(対前年度	405人増)
	テント村	3,495人	(" 530人増)
	屋内研修施設	2,472人	(" 134人増)
利用料収入	3,381,360円(対前年度365,890円増)			
管理業務に関する経費の収支状況				(単位：円)
	収入の部		支出の部	
	指定管理料	10,700,000	事業費	216,846
	利用料金収入	3,381,360	管理費	13,331,470
	その他の収入	1,021,147		
	合計(a)	15,102,507	合計(b)	13,548,316
	収支差額(a)-(b)		1,554,191	

検証結果
<p>利用者は、期間中、天候にも恵まれ、また団体利用者も多く昨年より増加しました。利用者としては過去最高となり、利用者数8,017人(シャワー含む)で昨年度と比べ1,164人の像、利用料収入は3,381,360円で、365,890円の増となった。</p> <p>恒例となった石水溪まつりの他、小学生を対象とした石水溪キャンプ教室は野外活動の楽しさを知る機会となり、開催協力を行なっている「みつまたの森ウォーキング」や「みつまた植樹」のイベントは石水溪の自然の魅力を伝え、リピーターも多く施設の利用促進につながっている。</p> <p>利用者サービスに関しては、薪や炭など利用者から要望のあった物品の販売など、利用者のニーズに合ったサービスを提供しており利用者に喜ばれている。</p> <p>施設及びその周辺は、常に美しい状態を保っており、管理・運営ともに良好に実施され、また、地元の人を管理人として雇用し、地域に根づいた施設としても位置付けされている。市民団体主催のみつまたの森ウォークでは、施設を無料開放し、開催を支援するなど、積極的に市民団体と連携を図っている。</p> <p>今後も、現在の管理運営を継続しながら、地域と連携した体験プログラムや散策ツアーなど石水溪の魅力を活かす事業が、施設の利用者増加に繋がるよう取り組みを進めることが望まれる。</p>

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	市民文化部関支所観光振興室
施設名	道の駅関宿 地域振興棟	
指定管理者	株式会社 安全	
指定期間	平成25年5月1日から平成30年3月31日まで	

事業報告概要	
管理について	<p>（施設管理）道の駅関宿 地域振興棟（売店、レストラン、2階多目的室、観光案内）</p> <p>（管理業務）仕様書及び協定書に基づき実施する管理業務（消防設備保守点検、ゴミ回収及び運搬、夜間の警備業務、厨房で発生する廃油回収及び運搬、厨房の衛生環境維持のために害虫駆除保守点検、玄関入り口のカーペットクリーニング、電気設備の保守点検等）を専門業者への委託し実施した。</p>
運営について	<p>基本協定及び仕様書に基づき、売店物販業務、レストランでの飲食業務、自販機による飲料販売業務、関宿及び亀山市観光案内業務、利用者に対する交通案内業務を実施した。</p> <p>関宿の加盟する中部ブロック「道の駅」連絡協議会と連携し、災害対応自販機を1台設置した。災害時にはタブレット端末等をインターネットに繋げる無料Wi-Fiや自販機飲料の無料提供等により利用者の安心安全の充実を図った。</p> <p>来訪者には関宿を紹介する映像モニターを玄関入り口横に設置し関宿の魅力を発信している。</p> <p>サービス業としての接客能力のレベルアップ、苦情対応、緊急時対応の研修を行った。</p> <p>お客様の声としてアンケートを実施し施設運営に反映した。</p>
事業について	<p>昨年に引き続き亀山市婦人会連絡協議会、亀山市老人クラブ連合会と共同で通路や駐車場周りの花壇作りに取り組んだ。</p> <p>地元生産者「まめぞろい」による朝市を支援した。毎週日曜日に開催される朝市にはリピーターの方も多く、来訪者の増加に効果があった。</p> <p>リニューアル2周年記念祭を開催しまぐろの解体ショーなどイベントを行なった。</p> <p>関宿納涼花火大会の開催に合わせて屋台等の出店を用意し道の駅からの花火を楽しんでもらった。年末には餅つき大会を亀山市婦人会連絡協議会等の協力を得て開催し、約450人の来場があった。2階多目的室の活用では似顔絵の体験イベントやアート展等のイベントを実施したところ、家族連れを中心に多くの来場者があった。</p> <p>レストランでは地産地消をコンセプトに自然薯定食や伊勢茶うどんなど四季のメニューやB級グルメの亀山みそ焼きうどんや亀山ラーメンの提供を行っている。</p>
施設の利用状況	
営業期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
売店利用人数	68,112人（前年比2,172人増）

レストラン利用人数 40,047人(前年比 250人増)

利用人数は売店、レストランでそれぞれ集計しているため重複分を含む。

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
販売収入	89,209,975	事業費 商品原価	51,869,099
内 売店売上	61,708,828	販売費及び一般管理費	31,211,728
食堂売上	20,631,177	内 人件費	15,210,004
自動販売機売上	6,774,266	水道光熱費	2,774,774
イベント販売	95,704	賃借料	4,187,660
		本社経費	5,640,000
		その他経費	3,399,290
合計 (a)	89,209,975	合計 (b)	83,080,827
収支差額 (a) - (b)		6,129,148	

検証結果

道の駅地域振興施設の維持管理については、仕様書に基づき実施されており、売店やレストラン清掃状況は良好であり、厨房内の衛生環境も良好に保たれている。また、消防設備等の維持管理も適切に管理されている。

利用者は、平成27年度は108,159人となり前年度比2,422人の増加となり民間手法による指定管理の効果が発揮されている。

運営については、婦人会や老人会との協働で花壇作りに取り組むなど地域との連携を生かした取り組みも行われている。また、災害時の対応として関宿の加盟する中部ブロック「道の駅」連絡協議会と連携し、災害対応自販機を1台設置するなど安心安全の取り組みを進める一方、利用者の利便性を高める無料Wi-Fiの増設などネット環境の向上を図るなど民間活力による積極的な取り組みが見られる。

2階多目的室の活用として榑安全が所有する、富永一郎氏の原画を展示するほか、似顔絵体験や個人作家によるアート展の開催など来館者が楽しめる工夫を行っている。

地域振興の取り組みとして、朝市「まめぞろい」など地元生産者の野菜や加工品の販売等や朝市開催の支援を行っている。

今後も、地産地消を進めるため生産、加工品販売や食事の提供を行うとともに「まめぞろい」会員を増やすための支援を行うとともに、来訪者の増加に繋がる体験型のイベント等の開催、季節感を意識したメニューの開発など、利用者ニーズに沿った取り組みの充実が望まれる。

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	環境産業部商工業振興室
施設名	亀山市勤労文化会館	
指定管理者	亀山地区労働者福祉協議会	
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	

事業報告概要	
管理について	<p><u>施設及び設備の管理について</u></p> <p>利用者が安心して快適に利用できるよう、建物設備の日常点検、法定点検、定期点検等の保守管理業務を実施するとともに、快適な環境を保つため清掃業務等の維持管理業務を実施し、適正に施設内外の維持管理が実施された。</p> <p><施設の管理に関する業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備保守点検委託 ・清掃業務・草刈業務委託等 <p><u>備品について</u></p> <p>備品の点検及び貸与等、適切に管理が行われた。</p>
運営について	<p><u>施設の運営について</u></p> <p>亀山市勤労文化会館施設条例及び同条例施行規則等関連法令を遵守し、施設の利用許可及び利用料金の徴収業務等、適正に施設運営が行われた。</p> <p>また、施設利用状況及び施設運営状況、管理に要した経費の収支等について、適切に事業報告がされており、事業計画に基づき適正な運営が実施された。</p> <p><u>市民ニーズの把握（アンケート調査）について</u></p> <p>利用者のニーズを把握するため、利用者アンケートを実施した。</p>
事業について	<p><u>その他の業務について</u></p> <p>雇用・労働に関する制度等の情報提供を行うため、勤労文化会館内にパンフレット等の設置を行うとともに利用者等へ周知を図った。</p>

施設の利用状況		
<u>昨年度と比較した施設の利用状況</u>		
(H 2 6)	(H 2 7)	
【利用件数】 5 2 1 件	4 8 2 件	(前年度比 7 % 減)
【利用人数】 4 , 9 5 1 名	5 , 1 6 0 名	(前年度比 4 % 増)
【利用料金】 6 3 7 , 4 0 2 円	7 0 6 , 1 3 6 円	(前年度比 1 1 % 増)
施設の利用状況について、前年度と比較すると、施設利用件数は減少しているものの、利用人数及び利用料金は、増加している。		

管理業務に関する経費の収支状況			
(単位 : 円)			
収入の部		支出の部	
指定管理料	4,624,000	事業費	0
利用料金収入	706,136	管理費	4,966,584
その他の収入	53,849	その他	0
合計 (a)	5,383,985	合計 (b)	4,966,584
収支差額 (a) - (b)		417,401	

検証結果
<p>施設の管理・運営業務ともに適正に実施されており良好な状態を維持できている。</p> <p>利用者への対応等においては、利用者対応マニュアルや緊急時の対応マニュアルに基づき、適切な対応が図られている。</p> <p>勤労文化会館内に事務室がある労働関係団体との連絡等業務については、円滑に行われており、勤労者福祉の充実に向け、雇用・労働に関する制度等の情報収集等も積極的に行われている。</p> <p>また、利用者へ実施しているアンケート調査においては、利用者の施設に対する満足度は高く、老朽化している施設ではあるが、清潔に維持されており、職員の対応も親切であるという結果が出ている。</p> <p>このような日々のきめ細かな施設の管理運営及び労働関係団体等のネットワークが利用促進等に繋がっており、今後も適正な管理運営を継続して実施するとともに、より一層効率的かつ労働者の福利増進及び文化向上に資するよう運営がなされることを期待する。</p>

指定管理事業検証結果報告書（平成27年度）

	担当室	建設部都市計画室
施設名	亀山市都市公園施設（83公園）	
指定管理者	公益財団法人亀山市地域社会振興会	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）	

事業報告概要	
管理について	<p><u>施設及び設備の管理について</u></p> <p>清掃作業・電気設備・排水設備等の管理は適正に実施されており、利用者からの苦情等も見られなかった。しかし、公園遊具の管理では、一部公園において事故が発生しており、応急措置等に課題を残す結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園遊具の管理については、専門業者による定期点検を年2回行うことで施設の安全性確保、また、毎週月曜日に日常点検を行うことで、不良箇所の早期発見にも努めた。大雨・台風時に臨時点検を行い、災害後の安全性確保にも努めた。 ・公園樹木の剪定・芝の消毒や薬剤の活用方法について、専門家による講習会を実施し、公園管理の改善を行うとともに技術向上を図った。 ・各公園イベントや自治会の要望に応じて臨機応変に管理（主に除草）を実施した。 ・季節及び日照時間に合わせたタイマー管理を照明や噴水等の電気設備で実施した。 ・浄化槽施設については、専門業者による点検を年4回実施した。 ・菖蒲園において、しょうぶの株分けを自前でを行った。また、ポット苗を育苗し、新しい畑に定植した。 ・今年度についてもドライミストを設置し、快適性の向上を図った。 ・公園内の落ち葉で堆肥を作成し、花壇及び菖蒲園の肥料として活用した。 <p><u>備品について</u></p> <p>備品の点検・修理、廃棄の報告、新規貸与物品の管理等、適切に管理している。</p>
運営について	<p><u>利用促進について</u></p> <p>亀山公園・西野公園・東野公園においてアンケートを行い利用者のニーズ把握を行った。また、東野公園において樹木板の設置や、公園のリーフレットを10箇所に設置し、利用促進を図った。その他にも、ホームページ等で菖蒲園の開花状況や桜の見ごろ情報を随時発信するとともに、財団たより等でもイベント情報等を告知することで利用促進に努めた。</p> <p><u>帳簿・料金支払いの管理</u></p> <p>光熱水費等の支払いは適正に支払い、帳簿についても適正に管理した。</p>

公園管理への地域住民等の参加促進

「公園安全見守り隊」の運営や自治会・こども会との連携等、地域による公園管理を推進し、公園に愛着を持つ機会づくりを実施した。

収支計画について

科目によっては流用が見られたが、指定管理料の範疇に収まっており、概ね計画通り実施された。

組織体制の強化について

臨時職員及び常駐の委託先職員を含め、接遇研修や AED 講習などの講習を実施し、全体の質の向上、また、職員を対象とした研修も実施し、組織体制の強化に努めた。

人員の配置について

作業員の出勤体制について夏季と冬季で人員数を変更するとともに、冬季の勤務体系を見直すことで経費の削減に努めた。

事業について

自主事業について

太極拳教室やオリエンテーリングを実施し、健康増進や利用促進に努めた。また、菖蒲園や市の花である花しょうぶに愛着を持っていただくよう、市内小学校に訪問し、花しょうぶの栽培指導（アウトリーチ）も実施した。

施設の利用状況

公園における利用者数の把握は行っていないが、市の花として市内外より多くの方が来訪される亀山公園菖蒲園における花しょうぶまつりについては、約6,500人が来園されるなど、亀山の名所として定着している。

また、自主事業として、太極拳教室やオリエンテーリングを年1回実施しており、新しい公園利用の方法としても定着している。

管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	65,000,000	事業費	2,490,392
利用料金収入	6,360	管理費	62,554,846
その他の収入	1,964,920	その他	0
合計 (a)	66,971,280	合計 (b)	65,045,238
収支差額 (a) - (b)		1,926,042	

検証結果

清掃作業、電気・排水設備管理等、通年的な維持管理業務は適正に実施されており、利用者等からの苦情も見られないことから、良好な状態を維持できていると思われる。また、公園内の落ち葉を利用し肥料とすることで経費削減を図る試みも見られた。しかし、公園遊具の管理では、一部公園において事故が発生しており、応急措置や連絡体制等に課題を残す結果となったため、来年度は遊具の使用停止判断等について適切に判断されるよう期待したい。また、避難場所に指定されている施設が何カ所かあるため、被災された方が避難されてきた場合に備え物資の備蓄等にも期待したい。

施設の維持管理業務のうち除草作業において、自治会要望等に配慮した柔軟な対応を行い計画通り除草作業を完了できた。また、公園樹木の剪定・芝の消毒や薬剤の活用方法について、専門家による講習会を実施し、職員の技術向上を図り、よりよい維持管理を行おうという姿勢も評価できる。

自主事業では、太極拳教室やオリエンテーリングを実施し、利用者の獲得を図るとともに、ホームページによる情報発信や東野公園に樹木板を設置するなど公園の利用促進に向けた取り組みが行われた。一方運営面で、地域や企業等へ公園環境美化ボランティア新規加入の勧誘を行っているが、実績が伴っていないため、取組方法等を再度検討することに期待する。また、職員の質向上等のために実施している覆面ボランティア制度の運用方法を再度検討し、更なる公園管理に期待したい。

引き続き適切な施設管理を実施するとともに、公園アンケート結果を活かした新たな取り組みや公園に愛着を持っていただける取り組みが行われることを期待する。